

令和3年度（2021年度）道民経済計算年報の概要

令和6年（2024年）8月
北海道経済部経済企画局経済企画課

ポイント

全道の状況

・経済成長率

令和3年度の本道経済は名目・実質ともにプラス成長となった。

名目 2.3%（全国 2.7%）

実質 2.3%（全国 2.8%）

・道内総生産（生産側）

道内総生産（名目） 20兆5,409億円（対前年度 +4,653億円）

・道民所得

1人当たり道民所得 281万1千円（前年度比 +2.9%、+7万9千円）

1人当たり国民所得 315万3千円（前年度比 +5.8%、+17万3千円）

振興局別の状況

総生産は石狩振興局がトップ、1人当たりの総生産は根室振興局がトップ

・振興局別総生産（上位5振興局）

石狩 9兆5,982億円 胆振 1兆7,821億円 上川 1兆6,886億円

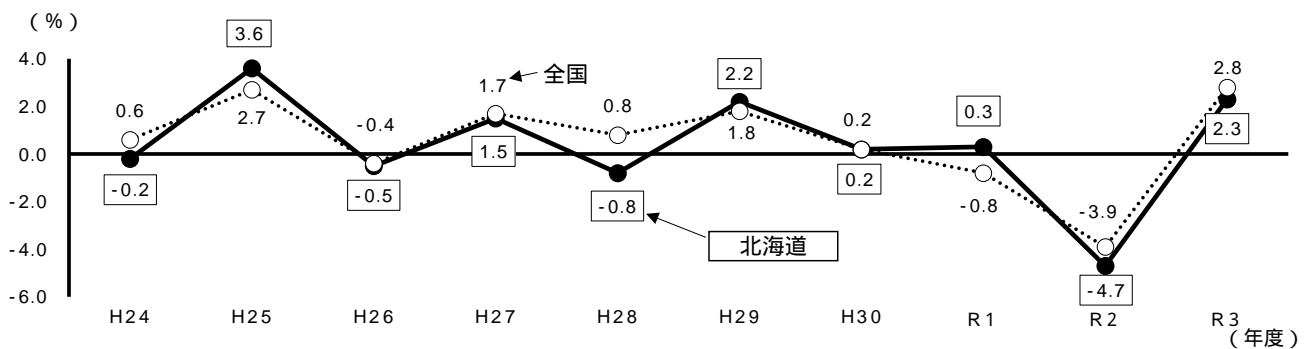
十勝 1兆3,886億円 渡島 1兆3,029億円

・人口1人当たり総生産（上位5振興局）

根室 5,302千円 宗谷 4,824千円 胆振 4,718千円

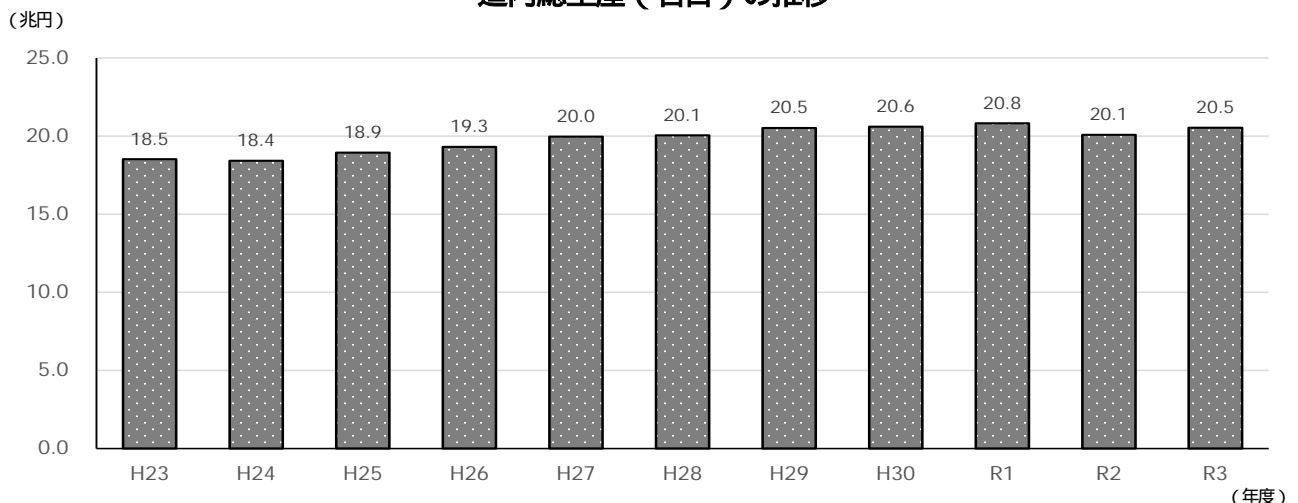
十勝 4,211千円 オホーツク 4,009千円

経済成長率（実質）の推移



（注）経済成長率は、道内・国内総生産の対前年度増加率

道内総生産（名目）の推移



1 道内総生産（生産側）

- ・第1次産業は、農業は減少したが、水産業などが増加し、全体では2.2%のプラス。
- ・第2次産業は、製造業及び建設業がともに1.9%増加したことなどから、全体では1.8%のプラス。
- ・第3次産業は、電気・ガス・水道・廃棄物処理業が3.7%減少するなどしたが、卸売・小売業が5.7%、保健衛生・社会事業が2.8%増加したことなどから、全体では1.9%のプラス。

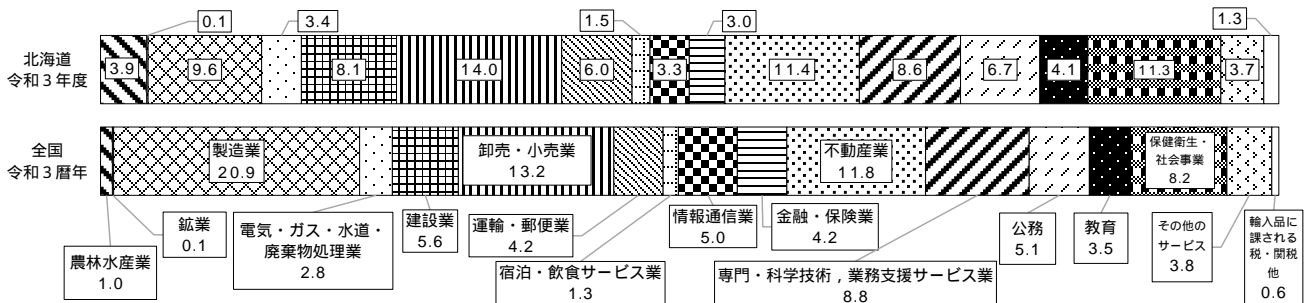
道内総生産（生産側 名目）

項目 / 年度	実数		対前年度増加率		構成比		増加寄与度	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
1. 農林水産業	7,856	8,027	-3.0	2.2	3.9	3.9	-0.1	0.1
(1) 農業	6,247	6,112	-1.8	-2.2	3.1	3.0	-0.1	-0.1
(2) 林業	234	236	-7.6	1.1	0.1	0.1	-0.0	0.0
(3) 水産業	1,376	1,679	-7.5	22.0	0.7	0.8	-0.1	0.2
2. 鉱業	268	255	0.4	-4.6	0.1	0.1	0.0	-0.0
3. 製造業	19,427	19,791	2.4	1.9	9.7	9.6	0.2	0.2
4. 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	7,203	6,939	2.4	-3.7	3.6	3.4	0.1	-0.1
5. 建設業	16,277	16,581	0.8	1.9	8.1	8.1	0.1	0.2
6. 卸売・小売業	27,251	28,804	-4.6	5.7	13.6	14.0	-0.6	0.8
7. 運輸・郵便業	12,354	12,267	-18.9	-0.7	6.2	6.0	-1.4	-0.0
8. 宿泊・飲食サービス業	3,270	3,118	-41.6	-4.7	1.6	1.5	-1.1	-0.1
9. 情報通信業	6,791	6,839	2.7	0.7	3.4	3.3	0.1	0.0
10. 金融・保険業	6,180	6,218	-5.4	0.6	3.1	3.0	-0.2	0.0
11. 不動産業	22,962	23,434	1.1	2.1	11.4	11.4	0.1	0.2
12. 専門・科学技術，業務支援サービス業	17,154	17,662	1.2	3.0	8.5	8.6	0.1	0.3
13. 公務	13,817	13,847	-3.3	0.2	6.9	6.7	-0.2	0.0
14. 教育	8,356	8,350	-0.0	-0.1	4.2	4.1	-0.0	-0.0
15. 保健衛生・社会事業	22,536	23,166	-0.6	2.8	11.2	11.3	-0.1	0.3
16. その他のサービス	7,348	7,512	-10.7	2.2	3.7	3.7	-0.4	0.1
17. 小計	199,050	202,808	-3.5	1.9	99.2	98.7	-3.5	1.9
18. 輸入品に課される税・関税	3,539	4,205	-1.6	18.8	1.8	2.0	-0.0	0.3
19. (控除)総資本形成に係る消費税	1,833	1,604	11.2	-12.5	0.9	0.8	0.1	-0.1
20. 道内総生産(17+18-19)	200,756	205,409	-3.6	2.3	100.0	100.0	-3.6	2.3
(再掲) 第1次産業	7,856	8,027	-3.0	2.2	3.9	3.9	-0.1	0.1
第2次産業	35,972	36,627	1.7	1.8	17.9	17.8	0.3	0.3
第3次産業	155,222	158,154	-4.6	1.9	77.3	77.0	-3.6	1.5
(参考) 道内総生産(実質:2015暦年(平成27暦年)連鎖価格)	193,897	198,362	-4.7	2.3				

(注)増加寄与度 = (経済活動別の当年度総生産 - 前年度総生産) ÷ 前年度道内総生産 × 100
この概要で、「H」「R」とあるのは、「平成」「令和」であり、各年度を表している。以下同様。

- ・経済活動別総生産の構成比について全国と比較すると、農林水産業3.9%（全国1.0%）、建設業8.1%（同5.6%）、公務6.7%（同5.1%）などが全国に比べて高く、製造業9.6%（同20.9%）、情報通信業3.3%（同5.0%）などが全国に比べて低くなっている。

道（国）内総生産の経済活動別構成比（%）



(注) 輸入品に課される税・関税他は「輸入品に課される税・関税、(控除)総資本形成に係る消費税」
全国にあっては統計上の不突合を含む

2 道民所得

- ・雇用者報酬が 0.1%減少したが、財産所得が 6.7%、企業所得が 9.9%増加したことから、合計の道民所得は 2.1%のプラス。
- ・1人当たり道民所得は、281万1千円と前年度に比べ7万9千円(2.9%)増加した。全国(315万3千円)との差は、前年度の24万8千円(対全国比 91.7%)から34万2千円(同 89.2%)に拡大した。

道民所得

(単位：億円、%)

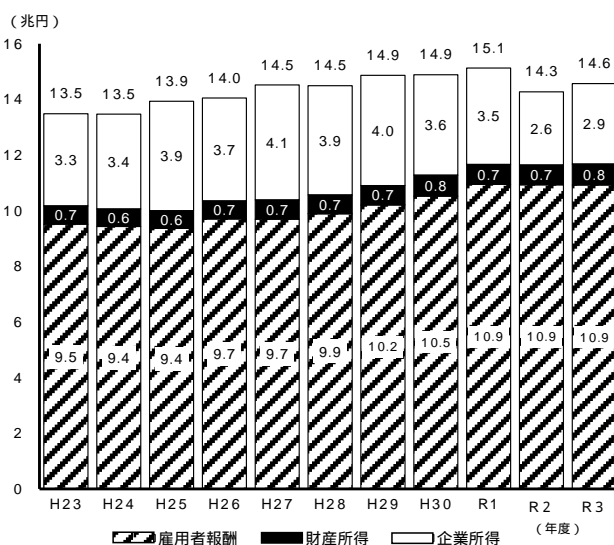
項目 / 年度	実数		対前年度増加率		構成比	
	R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021
1 雇用者報酬	109,298	109,203	-0.1	-0.1	76.6	74.9
(1) 賃金・俸給	93,695	93,214	0.1	-0.5	65.7	64.0
(2) 雇主の社会負担	15,603	15,989	-1.3	2.5	10.9	11.0
2 財産所得(非企業部門)	7,094	7,568	-1.3	6.7	5.0	5.2
(1) 一般政府	23	71	-55.7	212.6	0.0	0.0
(2) 家計	6,939	7,342	-0.9	5.8	4.9	5.0
(3) 対家計民間非営利団体	132	155	-1.0	17.0	0.1	0.1
3 企業所得(企業部門の第1次所得バランス)	26,327	28,936	-23.9	9.9	18.4	19.9
(1) 民間法人企業	11,990	14,012	-38.7	16.9	8.4	9.6
(2) 公的企業	-783	-856	-1,024.6	-9.4	-0.5	-0.6
(3) 個人企業	15,119	15,780	0.0	4.4	10.6	10.8
4 道民所得(1+2+3)	142,719	145,707	-5.6	2.1	100.0	100.0

1人当たり道民・国民所得の推移

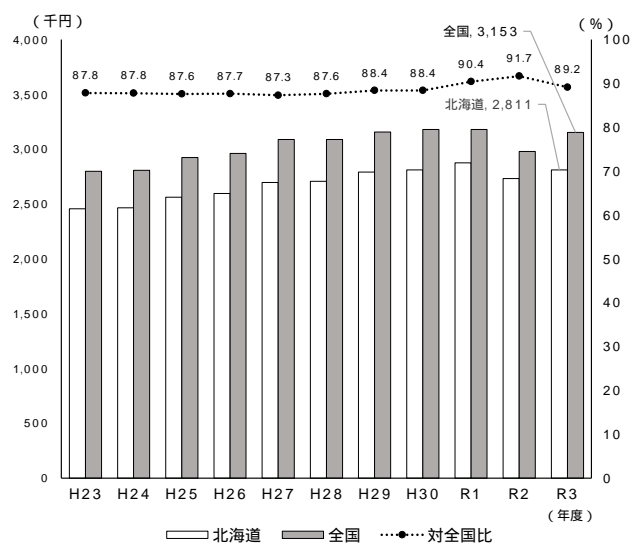
(単位：千円、%)

区分	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021
北海道	2,457	2,465	2,562	2,596	2,697	2,707	2,791	2,812	2,876	2,732	2,811
全国	2,798	2,808	2,925	2,961	3,089	3,089	3,157	3,181	3,181	2,980	3,153
対全国比	87.8	87.8	87.6	87.7	87.3	87.6	88.4	88.4	90.4	91.7	89.2

道民所得の推移



1人当たり道(国)民所得の推移



3 道内総生産（支出側）

- ・民間需要は、家計最終消費支出の増加により、0.6%のプラス。
 - ・公的需要は、地方政府等最終消費支出の増加により、1.8%のプラス。
- 道内需要に対する公的需要の割合は、前年度から0.2ポイント上昇して30.4%となり、全国（26.5%）に比べて3.9ポイント高くなっている。

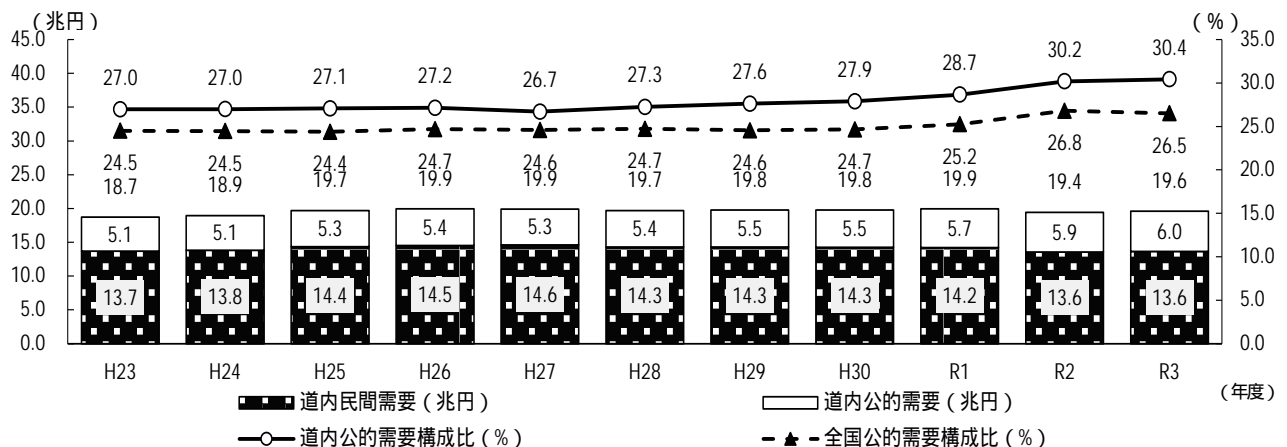
道内総生産（支出側 名目）

(単位：億円、%)

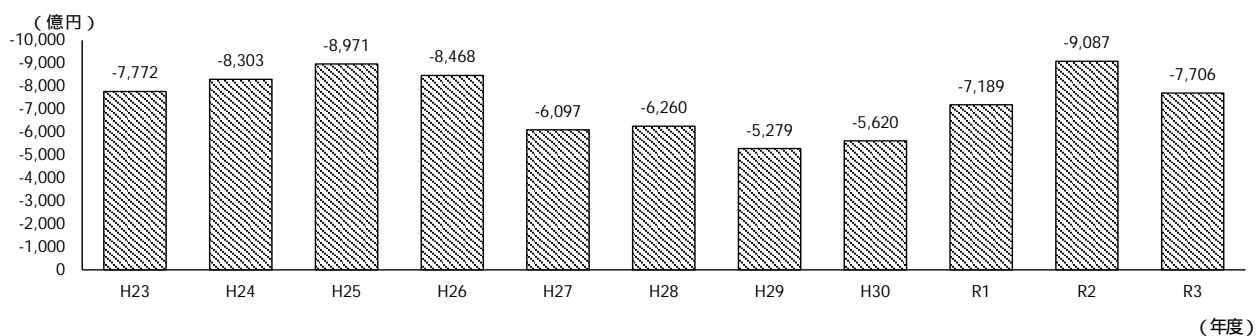
項目 / 年度	実数		対前年度増加率		構成比		増加寄与度		(参考)全国構成比	
	R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021
1. 民間最終消費支出	113,078	115,561	-4.7	2.2	56.3	56.3	-2.7	1.2	53.7	53.9
(1) 家計最終消費支出	110,002	112,614	-5.2	2.4	54.8	54.8	-2.9	1.3	52.1	52.4
(2) 対家計民間非営利団体最終消費支出	3,075	2,947	18.0	-4.2	1.5	1.4	0.2	-0.1	1.6	1.4
2. 地方政府等最終消費支出（全国：政府最終消費支出）	40,296	42,127	0.8	4.5	20.1	20.5	0.2	0.9	21.1	21.5
3. 道内総資本形成	40,820	38,423	0.0	-5.9	20.3	18.7	0.0	-1.2	25.3	25.9
(1) 総固定資本形成	40,914	39,331	0.8	-3.9	20.4	19.1	0.1	-0.8	25.4	25.5
a 民間	22,607	21,777	-3.6	-3.7	11.3	10.6	-0.4	-0.4	19.7	20.1
(a) 住宅	7,213	7,776	-4.6	7.8	3.6	3.8	-0.2	0.3	3.7	3.9
(b) 企業設備	15,394	14,000	-3.1	-9.1	7.7	6.8	-0.2	-0.7	16.0	16.2
b 公的	18,307	17,554	6.7	-4.1	9.1	8.5	0.6	-0.4	5.7	5.4
(a) 住宅	546	542	5.0	-0.7	0.3	0.3	0.0	-0.0	0.1	0.1
(b) 企業設備	3,241	3,260	9.7	0.6	1.6	1.6	0.1	0.0	1.3	1.2
(c) 一般政府	14,520	13,752	6.1	-5.3	7.2	6.7	0.4	-0.4	4.3	4.1
(2) 在庫変動	-94	-908	-148.0	-862.5	-0.0	-0.4	-0.1	-0.4	-0.1	0.4
a 民間企業	-116	-916	-162.1	-691.0	-0.1	-0.4	-0.1	-0.4	-0.1	0.4
b 公的(公的企業・一般政府)	21	7	114.2	-66.5	0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.0	-0.0
4. 財貨・サービスの移出入（純）・統計上の不突合	6,562	9,299	-25.3	41.7	3.3	4.5	-1.1	1.4	-0.1	-1.2
(1) 財貨・サービスの移出入（純）	-9,087	-7,706	-26.4	15.2	-4.5	-3.8	-0.9	0.7	-0.1	-1.2
(2) 統計上の不突合	15,650	17,005	-2.0	8.7	7.8	8.3	-0.2	0.7	-	-
5. 道（国）内総生産（支出側）（1+2+3+4）	200,756	205,409	-3.6	2.3	100.0	100.0	-3.6	2.3	100.0	100.1
(再掲) 民間需要	135,569	136,422	-4.7	0.6	69.8	69.6	-3.2	0.4	73.2	73.5
公的需要	58,624	59,688	2.6	1.8	30.2	30.4	0.7	0.5	26.8	26.5
道(国)内需要	194,193	196,110	-2.6	1.0	100.0	100.0	-2.5	1.0	100.0	100.0

(注) 民間需要 民間最終消費支出 + 民間総固定資本形成 + 民間在庫変動
 公的需要 地方政府等最終消費支出(全国：政府最終消費支出) + 公的総固定資本形成 + 公的在庫変動
 (再掲)の構成比は道(国)内需要に対する比率

道（国）内需要（名目）の推移



財貨・サービスの移出入（純）の推移



4 地域

(1) 振興局別総生産(名目)

総生産

令和3年度の総生産を振興局別にみると、石狩が9兆5,982億円で最も多く、全体の46.7%を占め、次いで胆振1兆7,821億円(同8.7%)、上川1兆6,886億円(同8.2%)、十勝1兆3,886億円(同6.8%)、渡島1兆3,029億円(同6.3%)と続き、上位5振興局で15兆7,604億円、全体の76.7%を占めた。

対前年度増加率

令和3年度の振興局別総生産の対前年度増加率をみると、宗谷(6.0%)、根室(4.0%)、胆振(3.5%)、十勝(3.2%)、オホーツク(2.8%)、石狩(2.7%)、後志(2.5%)、上川(2.2%)、空知(1.4%)、渡島(1.1%)、檜山(0.4%)の計11振興局がプラスとなった。

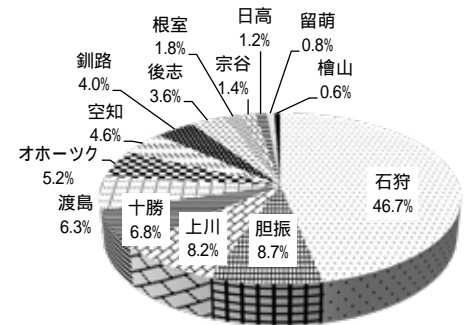
一方、釧路(2.7%)、日高(1.5%)、留萌(0.8%)の計3振興局でマイナスとなった。

振興局別総生産

(単位:億円、%)

振興局別総生産のシェア(令和3年度)

振興局	実 数					R3 (2021) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021
空知	9,682	9,485	9,623	9,238	9,365	4.6	-4.0	1.4	-0.2	0.1
石狩	94,533	95,699	97,209	93,499	95,982	46.7	-3.8	2.7	-1.8	1.2
後志	7,387	7,467	7,440	7,258	7,440	3.6	-2.4	2.5	-0.1	0.1
胆振	17,173	17,917	17,797	17,226	17,821	8.7	-3.2	3.5	-0.3	0.3
日高	2,579	2,396	2,424	2,450	2,413	1.2	1.1	-1.5	0.0	-0.0
渡島	13,268	13,223	13,180	12,883	13,029	6.3	-2.3	1.1	-0.1	0.1
檜山	1,179	1,221	1,245	1,188	1,193	0.6	-4.6	0.4	-0.0	0.0
上川	17,205	17,019	17,245	16,525	16,886	8.2	-4.2	2.2	-0.3	0.2
留萌	1,638	1,616	1,611	1,623	1,610	0.8	0.7	-0.8	0.0	-0.0
宗谷	2,868	2,835	2,958	2,775	2,942	1.4	-6.2	6.0	-0.1	0.1
オホーツク	11,248	10,803	10,757	10,480	10,779	5.2	-2.6	2.8	-0.1	0.1
十勝	14,136	13,959	13,983	13,458	13,886	6.8	-3.8	3.2	-0.3	0.2
釧路	8,674	8,779	8,960	8,549	8,318	4.0	-4.6	-2.7	-0.2	-0.1
根室	3,661	3,660	3,790	3,603	3,747	1.8	-4.9	4.0	-0.1	0.1
全道	205,230	206,078	208,220	200,756	205,409	100.0	-3.6	2.3	-3.6	2.3



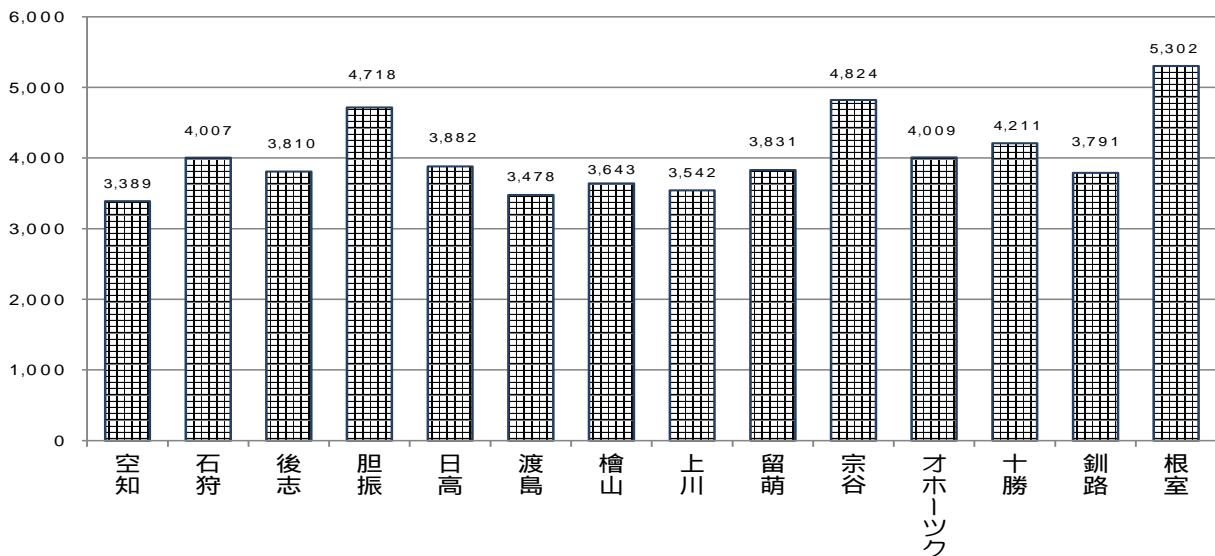
- (注) 1 対前年度増加寄与度 = (振興局の当年度総生産 - 前年度総生産) ÷ 全道の前年度総生産 × 100 (以下、各表同様)
 2 四捨五入の関係で、内訳項目の合計が合計項目の係数と一致しない場合がある。(以下、各図表同様)

1人当たり総生産

令和3年度の振興局別の1人当たり総生産をみると、根室が5,302千円と最も高くなっており、次いで宗谷4,824千円、胆振4,718千円、十勝4,211千円、オホーツク4,009千円となった。

(千円)

振興局別の1人当たり総生産(令和3年度)



- (注) 1 1人当たり総生産 = 振興局の総生産 ÷ 振興局の人口
 2 振興局の人口は、総務省「国勢調査」により補間推計の上、全道値(人口推計)とのギャップを修正。
 3 全道では3,963千円。

(2) 経済活動別総生産

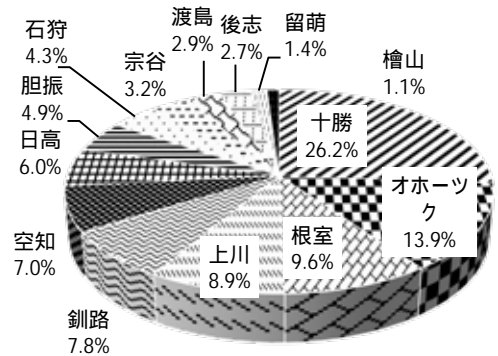
農業

- 振興局別にみると、十勝が1,601億円で最も多く、全体の26.2%を占め、次いでオホーツク847億円、根室587億円、上川547億円、釧路475億円と上位5振興局で4,057億円、全道の66.4%を占めた。
- 全道増加率(2.2%)に対する寄与度をみると、十勝(0.8%)、日高(0.3%)、根室(0.2%)、胆振(0.1%)など6振興局でプラスとなり、上川(1.1%)、空知(1.0%)、オホーツク(0.6%)、渡島(0.4%)など8振興局でマイナスとなった。

農業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R3 (2021) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021
空知	616	523	539	491	431	7.0	-9.0	-12.3	-0.8	-1.0
石狩	271	249	266	264	266	4.3	-0.5	0.6	-0.0	0.0
後志	228	214	197	186	168	2.7	-5.4	-9.9	-0.2	-0.3
胆振	293	262	283	290	298	4.9	2.5	2.5	0.1	0.1
日高	321	302	324	350	368	6.0	8.2	4.9	0.4	0.3
渡島	183	182	190	206	179	2.9	8.4	-13.4	0.3	-0.4
檜山	86	75	75	69	65	1.1	-7.7	-5.8	-0.1	-0.1
上川	720	615	670	613	547	8.9	-8.5	-10.8	-0.9	-1.1
留萌	94	83	89	89	85	1.4	0.0	-4.3	0.0	-0.1
宗谷	199	183	207	202	198	3.2	-2.4	-2.1	-0.1	-0.1
オホーツク	947	920	924	883	847	13.9	-4.4	-4.1	-0.6	-0.6
十勝	1,639	1,543	1,559	1,552	1,601	26.2	-0.4	3.1	-0.1	0.8
釧路	434	406	459	473	475	7.8	3.0	0.4	0.2	0.0
根室	544	512	577	576	587	9.6	-0.1	1.8	-0.0	0.2
全道	6,574	6,069	6,360	6,247	6,112	100.0	-1.8	-2.2	-1.8	-2.2

農業の全道シェア(令和3年度)



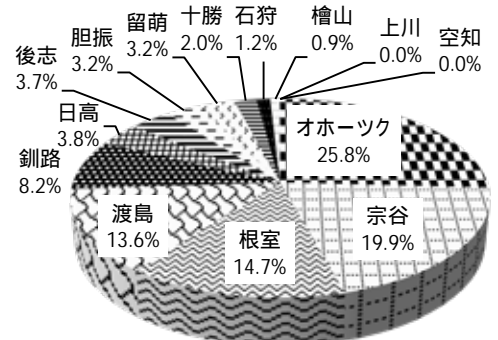
水産業

- 振興局別にみると、オホーツクが434億円で最も多く、全体の25.8%を占め、次いで宗谷334億円、根室246億円、渡島228億円、釧路137億円と上位5振興局で1,379億円、全道の82.1%を占めた。
- 全道増加率(22.0%)に対する寄与度をみると、オホーツク(10.2%)、宗谷(8.3%)など9振興局でプラスとなり、日高(1.2%)、釧路(0.5%)、十勝(0.4%)など4振興局でマイナスとなった。

水産業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R3 (2021) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021
空知	0	0	0	0	0	0.0	-	-	0.0	0.0
石狩	17	11	9	14	20	1.2	54.9	50.2	0.3	0.5
後志	73	64	63	59	62	3.7	-6.7	4.3	-0.3	0.2
胆振	102	85	59	56	53	3.2	-5.2	-4.3	-0.2	-0.2
日高	91	99	80	80	64	3.8	0.4	-20.9	0.0	-1.2
渡島	308	296	199	211	228	13.6	6.0	8.1	0.8	1.2
檜山	18	16	14	12	15	0.9	-13.3	21.4	-0.1	0.2
上川	0	0	0	0	0	0.0	-25.0	0.0	-0.0	0.0
留萌	72	57	43	47	53	3.2	8.2	13.5	0.2	0.5
宗谷	306	308	290	220	334	19.9	-23.9	51.5	-4.7	8.3
オホーツク	417	356	317	293	434	25.8	-7.6	47.9	-1.6	10.2
十勝	37	35	34	39	34	2.0	15.7	-14.4	0.4	-0.4
釧路	156	149	138	144	137	8.2	4.9	-5.2	0.5	-0.5
根室	269	273	242	200	246	14.7	-17.5	23.0	-2.9	3.3
全道	1,865	1,749	1,488	1,376	1,679	100.0	-7.5	22.0	-7.5	22.0

水産業の全道シェア(令和3年度)



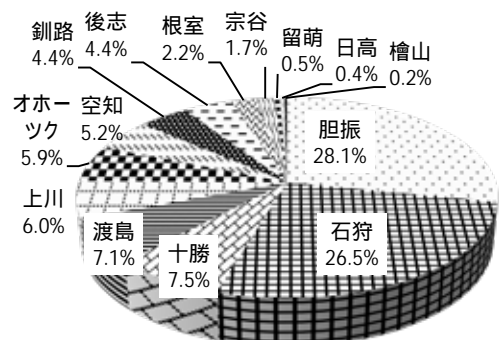
製造業

- 振興局別にみると、胆振が5,570億円で最も多く、全体の28.1%を占め、次いで石狩が5,242億円、十勝1,480億円、渡島1,413億円、上川1,179億円と上位5振興局で1兆4,884億円、全体の75.2%を占めた。
- 全道増加率(1.9%)に対する寄与度をみると、胆振(1.8%)、オホーツク(0.9%)、空知(0.6%)など11振興局でプラスとなり、石狩(1.8%)、釧路(1.5%)など3振興局でマイナスとなった。

製造業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					構成比 R3	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021
空知	1,002	1,003	970	905	1,026	5.2	-6.7	13.4	-0.3	0.6
石狩	5,421	5,539	5,526	5,591	5,242	26.5	1.2	-6.2	0.3	-1.8
後志	813	832	812	790	861	4.4	-2.7	9.0	-0.1	0.4
胆振	4,751	5,370	4,908	5,221	5,570	28.1	6.4	6.7	1.6	1.8
日高	78	83	63	132	87	0.4	110.0	-34.1	0.4	-0.2
渡島	1,178	1,186	1,147	1,353	1,413	7.1	18.0	4.4	1.1	0.3
檜山	47	50	37	39	43	0.2	5.9	10.5	0.0	0.0
上川	1,140	1,149	1,221	1,126	1,179	6.0	-7.8	4.8	-0.5	0.3
留萌	80	77	77	82	89	0.5	5.4	9.1	0.0	0.0
宗谷	252	218	305	265	328	1.7	-13.3	24.0	-0.2	0.3
オホーツク	1,226	1,000	960	983	1,166	5.9	2.3	18.7	0.1	0.9
十勝	1,441	1,577	1,370	1,383	1,480	7.5	1.0	7.0	0.1	0.5
釧路	1,043	1,102	1,171	1,162	863	4.4	-0.8	-25.8	-0.0	-1.5
根室	349	378	404	396	443	2.2	-2.1	11.8	-0.0	0.2
全道	18,819	19,562	18,972	19,427	19,791	100.0	2.4	1.9	2.4	1.9

製造業の全道シェア(令和3年度)



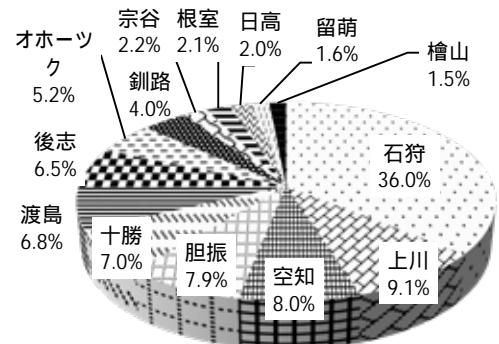
建設業

- 振興局別にみると、石狩が5,964億円で最も多く、全体の36.0%を占め、次いで上川1,511億円、空知1,333億円、胆振1,313億円、十勝1,158億円と上位5振興局で1兆1,279億円、全体の68.0%を占めた。
- 全道増加率(1.9%)に対する寄与度をみると、石狩(1.1%)、上川(0.9%)、十勝(0.8%)など6振興局でプラスとなり、オホーツク(0.6%)、渡島(0.5%)など8振興局でマイナスとなった。

建設業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R3 (2021) 構成比	対前年度増加率			対前年度増加寄与度		
	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021		
空知	1,278	1,147	1,296	1,348	1,333	8.0	4.0	-1.1	0.3	-0.1		
石狩	5,378	4,877	5,777	5,782	5,964	36.0	0.1	3.1	0.0	1.1		
後志	821	877	878	1,046	1,081	6.5	19.2	3.3	1.0	0.2		
胆振	1,034	1,152	1,460	1,235	1,313	7.9	-15.5	6.3	-1.4	0.5		
日高	465	290	336	334	331	2.0	-0.5	-0.9	-0.0	-0.0		
渡島	1,064	977	1,129	1,202	1,127	6.8	6.4	-6.2	0.4	-0.5		
檜山	184	233	273	251	249	1.5	-8.1	-1.0	-0.1	-0.0		
上川	1,428	1,220	1,264	1,364	1,511	9.1	7.9	10.8	0.6	0.9		
留萌	225	243	245	300	270	1.6	22.5	-10.1	0.3	-0.2		
宗谷	296	311	345	376	367	2.2	8.9	-2.4	0.2	-0.1		
オホーツク	992	841	853	962	866	5.2	12.7	-10.0	0.7	-0.6		
十勝	1,297	1,014	1,144	1,035	1,158	7.0	-9.6	11.9	-0.7	0.8		
釧路	621	680	761	699	667	4.0	-8.1	-4.7	-0.4	-0.2		
根室	335	325	384	343	345	2.1	-10.6	0.6	-0.3	0.0		
全道	15,420	14,188	16,146	16,277	16,581	100.0	0.8	1.9	0.8	1.9		

建設業の全道シェア(令和3年度)



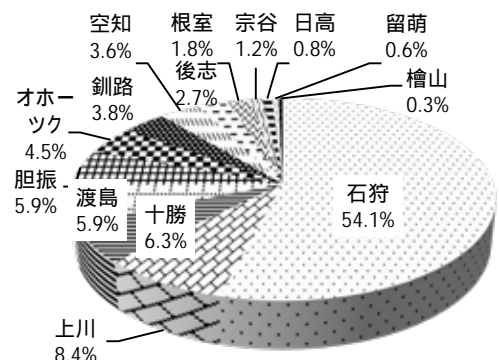
卸売・小売業

- 振興局別にみると、石狩が1兆5,595億円で最も多く、全体の54.1%を占め、次いで上川2,430億円、十勝1,824億円、渡島1,689億円、胆振1,688億円と上位5振興局で2兆3,226億円、全体の80.6%を占めた。
- 全道増加率(5.7%)に対する寄与度をみると、石狩(3.5%)、上川(0.4%)、胆振、渡島、十勝(各0.3%)など、全ての振興局でプラスとなった。

卸売・小売業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R3 (2021) 構成比	対前年度増加率			対前年度増加寄与度		
	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021		
空知	1,012	994	1,011	982	1,031	3.6	-2.9	4.9	-0.1	0.2		
石狩	15,549	15,544	15,440	14,647	15,595	54.1	-5.1	6.5	-2.8	3.5		
後志	798	777	780	746	776	2.7	-4.3	4.0	-0.1	0.1		
胆振	1,691	1,667	1,674	1,604	1,688	5.9	-4.2	5.2	-0.2	0.3		
日高	238	230	230	220	227	0.8	-4.4	3.0	-0.0	0.0		
渡島	1,724	1,690	1,691	1,615	1,689	5.9	-4.5	4.6	-0.3	0.3		
檜山	95	93	95	92	97	0.3	-2.5	5.0	-0.0	0.0		
上川	2,434	2,395	2,410	2,314	2,430	8.4	-4.0	5.0	-0.3	0.4		
留萌	181	175	175	167	172	0.6	-4.7	3.3	-0.0	0.0		
宗谷	379	367	364	344	356	1.2	-5.3	3.3	-0.1	0.0		
オホーツク	1,327	1,298	1,303	1,248	1,303	4.5	-4.2	4.4	-0.2	0.2		
十勝	1,807	1,783	1,799	1,731	1,824	6.3	-3.8	5.4	-0.2	0.3		
釧路	1,111	1,090	1,089	1,039	1,088	3.8	-4.6	4.7	-0.2	0.2		
根室	519	513	519	501	529	1.8	-3.4	5.6	-0.1	0.1		
全道	28,867	28,616	28,580	27,251	28,804	100.0	-4.6	5.7	-4.6	5.7		

卸売・小売業の全道シェア(令和3年度)



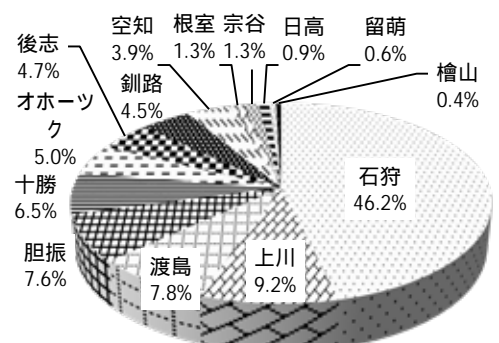
宿泊・飲食サービス業

- 振興局別にみると、石狩が1,441億円で最も多く、全体の46.2%を占め、次いで上川287億円、渡島244億円、胆振236億円、十勝203億円と上位5振興局で2,411億円、全体の77.3%を占めた。
- 全道増加率(4.7%)に対する寄与度をみると、石狩(2.3%)、上川(0.4%)、胆振、渡島、十勝(各0.3%)など全ての振興局でマイナスとなった。

宿泊・飲食サービス業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R3 (2021) 構成比	対前年度増加率			対前年度増加寄与度		
	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021		
空知	228	232	215	129	123	3.9	-39.8	-4.9	-1.5	-0.2		
石狩	2,449	2,563	2,441	1,516	1,441	46.2	-37.9	-4.9	-16.5	-2.3		
後志	311	317	299	152	146	4.7	-49.0	-4.0	-2.6	-0.2		
胆振	471	482	453	246	236	7.6	-45.6	-4.4	-3.7	-0.3		
日高	58	59	55	30	29	0.9	-45.9	-4.3	-0.5	-0.0		
渡島	488	496	463	256	244	7.8	-44.8	-4.5	-3.7	-0.3		
檜山	31	31	28	14	13	0.4	-50.7	-3.9	-0.3	-0.0		
上川	551	566	532	300	287	9.2	-43.6	-4.5	-4.1	-0.4		
留萌	42	42	39	21	20	0.6	-46.9	-4.3	-0.3	-0.0		
宗谷	91	92	86	42	40	1.3	-51.3	-3.8	-0.8	-0.0		
オホーツク	303	310	291	163	156	5.0	-44.0	-4.5	-2.3	-0.2		
十勝	380	391	368	213	203	6.5	-42.0	-4.7	-2.8	-0.3		
釧路	263	270	254	147	140	4.5	-42.2	-4.7	-1.9	-0.2		
根室	79	81	76	42	40	1.3	-44.6	-4.5	-0.6	-0.1		
全道	5,745	5,932	5,599	3,270	3,118	100.0	-41.6	-4.7	-41.6	-4.7		

宿泊・飲食サービス業の全道シェア(令和3年度)



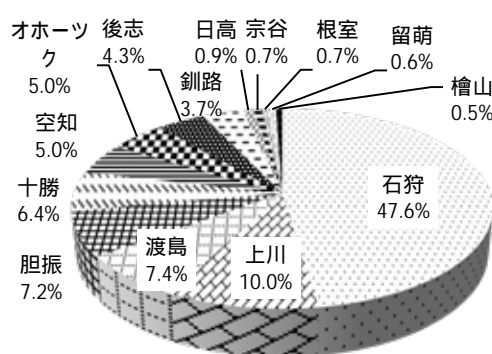
保健衛生・社会事業

- 振興局別にみると、石狩が1兆1,035億円で最も多く、全体の47.6%を占め、次いで上川2,309億円、渡島1,706億円、胆振1,664億円、十勝1,483億円と上位5振興局で1兆8,197億円、全体の78.6%を占めた。
- 全道増加率(2.8%)に対する寄与度をみると、石狩(1.5%)、上川(0.3%)、十勝(0.2%)など全ての振興局でプラスとなった。

保健衛生・社会事業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					R3 (2021) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021		R2 2020	R3 2021	R2 2020	R3 2021
空知	1,121	1,126	1,142	1,139	1,167	5.0	-0.3	2.4	-0.0	0.1
石狩	10,184	10,414	10,770	10,705	11,035	47.6	-0.6	3.1	-0.3	1.5
後志	933	943	971	968	999	4.3	-0.3	3.2	-0.0	0.1
胆振	1,635	1,635	1,659	1,632	1,664	7.2	-1.6	1.9	-0.1	0.1
日高	219	217	218	216	219	0.9	-0.9	1.4	-0.0	0.0
渡島	1,676	1,677	1,702	1,674	1,706	7.4	-1.6	1.9	-0.1	0.1
檜山	115	115	118	121	125	0.5	2.8	3.0	0.0	0.0
上川	2,179	2,203	2,254	2,244	2,309	10.0	-0.4	2.9	-0.0	0.3
留萌	138	138	141	142	147	0.6	1.2	3.4	0.0	0.0
宗谷	144	144	147	151	156	0.7	3.3	3.2	0.0	0.0
オホーツク	1,088	1,095	1,119	1,116	1,149	5.0	-0.2	2.9	-0.0	0.1
十勝	1,361	1,371	1,425	1,433	1,483	6.4	0.6	3.5	0.0	0.2
釧路	860	853	859	841	852	3.7	-2.0	1.3	-0.1	0.0
根室	151	149	150	151	154	0.7	1.0	1.8	0.0	0.0
全道	21,806	22,082	22,673	22,536	23,166	100.0	-0.6	2.8	-0.6	2.8

保健衛生・社会事業の全道シェア (令和3年度)



(3) 振興局別総生産の主な増減項目

振興局	総生産(億円)		対前年度 増加率 (%)	総生産の主な増減項目
	R2 2020	R3 2021		
空知	9,238	9,365	1.4	農業や建設業などで減少したが、製造業や卸売・小売業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
石狩	93,499	95,982	2.7	製造業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで減少したが、卸売・小売業や不動産業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
後志	7,258	7,440	2.5	農業や宿泊・飲食サービス業などで減少したが、製造業や建設業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
胆振	17,226	17,821	3.5	電気・ガス・水道・廃棄物処理業や運輸・郵便業などで減少したが、製造業や卸売・小売業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
日高	2,450	2,413	-1.5	農業やその他のサービスなどで増加したが、製造業や水産業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
渡島	12,883	13,029	1.1	建設業や運輸・郵便業などで減少したが、卸売・小売業や製造業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
檜山	1,188	1,193	0.4	農業や運輸・郵便業などで減少したが、卸売・小売業や製造業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
上川	16,525	16,886	2.2	農業や宿泊・飲食サービス業などで減少したが、建設業や卸売・小売業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
留萌	1,623	1,610	-0.8	製造業や水産業などで増加したが、建設業や運輸・郵便業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
宗谷	2,775	2,942	6.0	建設業や運輸・郵便業などで減少したが、水産業や製造業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
オホーツク	10,480	10,779	2.8	建設業や農業などで減少したが、製造業や水産業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
十勝	13,458	13,886	3.2	運輸・郵便業や宿泊・飲食サービス業などで減少したが、建設業や製造業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
釧路	8,549	8,318	-2.7	卸売・小売業や専門・科学技術・業務支援サービス業などで増加したが、製造業や建設業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
根室	3,603	3,747	4.0	金融・保険業や運輸・郵便業などで減少したが、製造業や水産業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。